

第2510地区 第11グループ



2005~2006

The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

# 函館北ロータリークラブ会報

2005~06年度  
国際ロータリーのテーマ

## 超我の奉仕



2005~06年度  
国際ロータリー会長

カール・ヴィルヘルム・  
ステンハマー

増田 定雄 会長 テーマ 温故知新 — ロータリーに愛を —



10月5日卓話 馮 涛(ファン ドウ)君

《第2031回例会》 第14号 10月12日(水)

### 本日のプログラム

#### 「会員卓話」

松見 修二 ロータリー財団・米山記念委員長

★会 長 増 田 定 雄      ★幹 事 増 山      正

例会場：函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151  
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務局：函館市大手町5-10 二チロビル4F TEL23-3870

## ◆会員の質疑に対してファン君から

- ・中国には日本の国勢調査のようなものはないが戸籍はある。国策である一人っ子政策は、都市部ではある程度守られているが、農村部では2～3人の場合もあり、この場合、2人目からは戸籍に載らないため、13億の人口については定かでない。
- ・日本の若者は勉強はするけれども、豊かさに慣れてしまって苦勞が足りない。自分でがんばろうという気持を失っているのも、もっと苦勞した方がいいと思う。
- ・中国の国民の夢は、かつては自転車と時計であったが、90年代になってパソコンとテレビになり、そして今、教育、家、車の順になっている。一人っ子であるため、子供の教育にかなり力を入れており、上海や北京にはとても教育費の高い私立の学校ができています。

(会報担当者：紫前 雅夫 委員)



全日本不動産協会会員 北海道知事免許 渡島(2)第902号  
 建築業許可北海道知事(般)渡3434号  
 新しい価値を創造する

## ヒーローマンション

### 日商興産株式会社

〒041-0852 北海道函館市鍛冶2丁目1番3号  
 TEL 0138-56-6600 FAX 0138-56-2310  
 マンション事業部直通 TEL 0138-56-3361

ホームページ <http://www.nisshokousan.com/> メール [info@nisshokousan.com](mailto:info@nisshokousan.com)

(広告掲載：山下 清司 会員)

 函館北ロータリークラブのホームページアドレス <http://www.hakodate-north.org/>

## ◎9月21日出席報告

会 員	33名	出席率対象会員	33名
		出席規定免除会員	0名
		出席率規定免除会員	0名
当日出席	24名	当日欠席	9名
他クラブ出席	3名	出席合計	27名
出席率	81.82%		

・ テレフォンサービス(例会移動案内)電話 26 - 3170 番

次回・10月19日  
プログラム

夜間例会「地区大会報告」

函館国際ホテル 午後6時30分～

10月5日の記録

◎司 会 増田 定雄 会長

◎斉 唱 国歌、我等の生業、四つのテスト

◎ゲ ス ト 米山奨学生 馮 涛(ファン ドウ)君

◎ビジター 函館R.C. 西村芳昭君

★誕生祝 藤田会員(23日)

★結婚祝 渡部会員(5日)、森 会員(9日)、小笠原会員(11日)、増田会員(13日)、  
藤田会員・佐々木会員(26日)

◎会長報告 増田 定雄 会長

○藪下ガバナ―補佐に活動費として5万円をお渡しましたので、皆様に報告いたします。

◎委員会報告

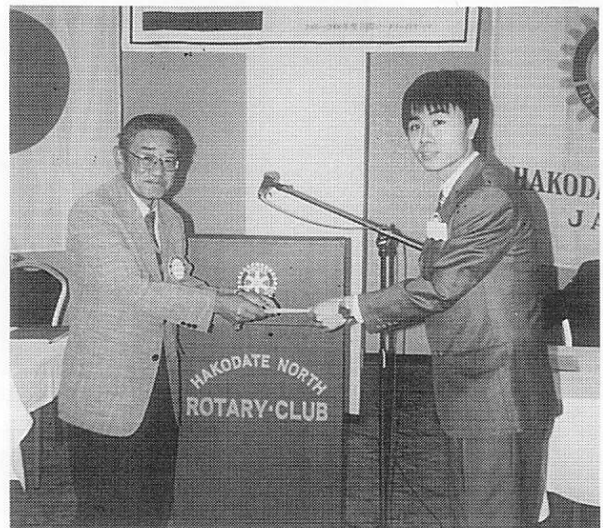
●ロータリーの友委員会 小笠原 孝 委員長

ロータリーの友10月号に2004～05年度国際ロータリー グレン会長の基調講演が載っております。ロータリーのバッジは信用の証しであることなどが述べられておりますので、是非読んで頂きたいと思います。

◎増田会長から 米山奨学生 馮 涛(ファン ドウ)君に  
奨学金が渡されました。

◎幹事報告 増山 正 幹事

- 第2四半期会費の案内をしましたので、今月中に払込みをお願い致します。
- 当クラブ10月19日の例会は、時間を変更し、夜間例会を開催いたします。
- 2004～2005年度地区要覧が届きましたので回覧します。
- 函館五稜郭R.C.14日、函館東R.C.18日、ともに移動例会に変更です。
- 例会終了後、定例理事会を開催致します。
- 地区協議会のCD-ROM届いています。希望される方は事務局まで。



(奨学金の贈呈)

◎親睦活動委員会 茂木 政雄 委員長

ニコニコBOX投入報告

- 増田 会長……ロータリーに愛を。ファン君卓話ががんばって。
- 増山 幹事……ロータリーに愛を!!
- 竹谷 会員……さわやかな秋です。
- 柴崎 会員……ファン君がんばれ。
- 森 会員……結婚月です。
- 茂木 会員……月始めです。
- 山下(甫)会員……月始めです。
- 新 会員…… ”

小笠原会員……月始めです。  
 中野 会員……秋らしくなりました。  
 佐々木会員……月始めです。  
 斉藤 会員……ちよつとうれしい事がありました。  
 石橋 会員……秋らしくなりました。  
 北村 会員……ファン君を迎えて。  
 青山 会員…… ”  
 紫前 会員…… ”  
 薮下 会員…… ”  
 山下(浦)会員…… ”  
 松見 会員……月始めです。  
 中川 会員…… ”  
 藤田 会員……結婚30年です。

◎卓話「私の目から見た日本社会」 米山奨学生 馮 涛(ファン ドウ)君

私は1998年10月に、私費留學生の一員として、中国の北京から札幌にやって来ました。日本語を1年半勉強し、その後2000年に北海道教育大学函館校の基礎情報コースに入学し、もうすぐ7年目になります。日本でこの何年間の生活を通して、日本社会、国民性、及び日本人の習慣などに対して、ある程度認識ができました。今回私は『私から見た日本社会』ということテーマにして論じたいと思います。

第一、日本社会は最も大きな特徴として“集団主義”であると思います。集団主義というのは、自分の利益よりも大きい集団の利益を優先させることです。この集団主義は日本社会ではどこでも存在しています。会社では、社員が皆一つになって、会社のために一生懸命に働き、争うように遅くまで残業しています。学校でも、生徒が同じ制服を着て、同じ内容の授業を勉強しています。この集団主義があつてこそ、画一された強国—日本が築かれ、日本の経済力、技術力、教育水準、国民の生活水準などが大幅にアップしました。しかし、その一方、自我が現せなくなつてしまいました。特に、日本の企業である、伝統的な「年功序列」というシステムの下で、能力を持っている優秀な人材はいくらあつても、全然発揮できずに、ただ、先輩たちに言われた通りにやるしかない、自分の能力を出した時は恐らく排除されたりします。しかし、今の日本企業は不景気のせいか、昔のシステムが少しずつ崩れつつあり、能力によって給与が決まる企業がたくさん増えて来ています。これから、更によくなるだろうと思います。

第二、日本社会は“経験社会”だと思ひます。確かに、経験者と未経験者との間に、かなり差が存在していますが、言われたままにやるのなら、ただのロボットとしか言えません。経験者からいい経験をいただいた上で、自分に合う、自分なりのやり方を考える必要があると思ひます。そうすることによって、チャレンジ精神が生まれ、それは、会社を支える不可欠なものになると思ひます。

第三、日本社会は“システム的な社会”だと思ひます。日本社会はどこでもシステム化しています。空港で列車のチケットを予約することができるとか、コンビニで電気代、電話料金など払うとか、デパートで飛行機のチェックインができるとか、その他、まだまだたくさんあります。日本社会は目で見えない糸でつながつていて思ひます。でも、一番見習わなければならないのは、日本人はきちんとルールを守ることです。会社のルール、交通ルールから、ごみ分別するなどのような地域のルール、住宅のルールなどまで、きちんと守っている。これも日本が短期間で世界No.2の経済大国を築いた理由でしょう。

最後、日本社会は“国際的な社会”だと思ひます。戦後以来、日本は積極的に留學生を派遣し、外国の先進技術を学ぶとともに、外国技術者・労働者・留學生なども積極的に受け入れています。つい最近、「留學生10万人を受け入れる」という目標を実現しました。今、日本では、違う国の人々が同じ職場で働くことは珍しいことではなくなりました。日本はアメリカの次、「世界の村」だと言えるほどになりました。私は留學生の一員として、この事業を推進する皆様に感謝の意を申し上げたいと思ひます。とともに、今後も、もっと留學生を受け入れるように祈つております。

以上は、自分が日本に来てから、目で見た、体験した、日本社会に対しての自分の見方ですが、まだ全然足りないかもしれません。今後、私はもっと日本社会を理解するように努力したいと思ひます。アジア地域の重要な国家として中国と日本は、アジアの振興のために調和と協力を強化しなければなりません。従つて、私は卒業後、中国に帰つて、中国と日本のこの友好の絆をより一層深めるように頑張りたいと思ひます。